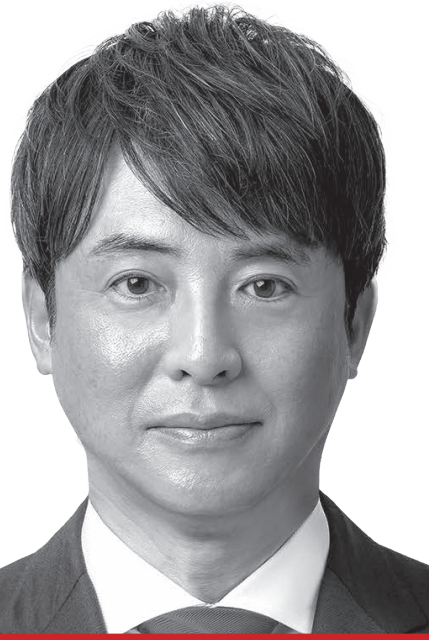
神奈川県議会議員
石川ひろのり
県議会レポート 2024 vol.32



石川ひろのり事務所　〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611　FAX 044-455-6614
県議会控室　〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650　FAX 045-210-8933
http://www.hiro-ishikawa.jp/　石川ひろのり 検索

県政刷新

県税の使い方について考える。事業見直しを進め約30億円を確保。

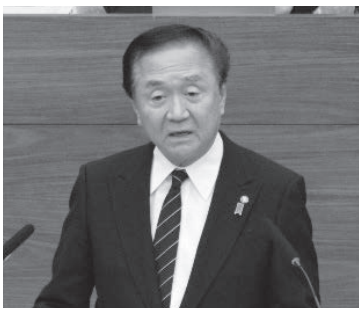
小児医療費助成など政令市に対する県単独補助金の見直しを発表！

約20年にわたる県への川崎市からの要請に基づき、政令市が他の市町村と比較し低く設定されている「小児医療費助成・ひとり親家庭等医療費助成など」の補助率見直しをこれまで知事に提言してきました。県からの補助率が上がることにより、市は他の事業に予算を振り分けることができると考えます。私は県財政が厳しい中でも、子育て環境整備や介護・医療、急傾斜地対策、横断歩道の引き直しなど県民生活に密着した課題に「迅速な対応が求められている」と県税の使い方について提案し続けています。

令和２年６月代表質問

石川】令和元年６月、一般質問で県単独補助金のうち二つの事業費補助金について質疑を行った際、知事から「平成13年度に検討組織が設立され、県と政令市を含む市町村での協議を経て、県の補助対象年齢引き上げと政令市の補助率引き下げが合意された。」との答弁があった。しかし、令和元年７月の川崎市議会でこの答弁が取り上げられ、財政局長は「平成14年７月の協議で指定都市に対する補助率引き下げが示され、川崎市はこれに異議を唱えた」と答弁されている。**市は補助率格差について承服できず、平成14年から18年間にわたり、毎年、県の予算編成に対して要請を続けている。県と指定都市の見解にずれがあり、まずは協議の場を設ける必要があるのではないか。**

知事】県単独補助事業の補助率は様々な経過を経て決定されており、小児医療費助成事業においては補助率の変更があった。初期は全市町村に対して1/2であったが、市町村からの要望に応え、補助対象年齢を１歳未満から３歳未満に拡大し、政令市1/4、その他市町村1/3という補助率が設定された。現行の補助率は政令市との協議に基づいており、県と政令市が同等の権限を有していることや、県として必要と考える行政サービスを財政規模の小さい市町村へも提供できるよう、財源を再配分していく必要があることから補助率の維持が重要と考えている。**政令市との補助基準の格差是正に向けた協議の場を改めて設置することは考えていないが、毎年度の予算調整などの機会を捉え、各市とは意見交換を行っていく。**



知事】平成13年度に県と政令市を含めた市町村の代表から成る検討組織を立ち上げ、協議を行った結果、平成15年度から県の補助制度の対象年齢を引き上げる一方、政令市の補助率を1/4に、その他の市町村の補助率を原則1/3に下げることで合意した。この経過を経たものであり、現行の制度を維持していくことが重要と考える。

石川】川崎市から格差是正について毎年度継続して要望が出されている。今回、「小児医療費助成」と「ひとり親家庭等医療費助成」を取り上げ、この政令市の補助金格差是正を見直すと約3.9億円の補助金増となる。しかし、財団法人への補助金の見直しや、観光客に受入環境整備をするための受益者負担をお願いすれば捻出できると私は考える。
また、県単独補助金格差是正について担当者間の協議では平行線でなかなか議論が深まらないとの話もある。知事には思い切った決断のもと、**「子育て環境を推し進める神奈川」のリーダーシップを発揮していただきたい。**

令和元年６月一般質問

石川】支援が必要な子ども・家庭のための取組みにおいて、川崎市をはじめとする政令市とその他の市町村とで取扱いに格差が設けられている。政令市の市民が県民として他の市町村の住民と同様に県税を納税していることを考慮すると、格差が設けられていることは市民の理解が得られるものではない。**少子化や子どもの貧困対策の必要性が高まる中、まずは「小児医療費助成」「ひとり親家庭等医療費助成」の補助率の格差を図る必要があると**考える。

単独補助事業における補助率の格差

名　称	格差の内容
ひとり親家庭等 医療費助成事業費補助金	【補助率】 指定都市　1/3　一般市　1/2
小児医療費助成事業補助金	【補助率】 指定都市　1/4　一般市　1/3
重度障害者医療費 給付補助事業補助金	【補助率】 指定都市　1/3　一般市　1/2
外国籍県民高齢者・障害者等 福祉給付金助成事業補助金	【補助率】 指定都市　対象外　一般市　1/2
沿道建築物耐震化 支援事業費補助金	【補助率】 指定都市　1/9　一般市　1/6

UD FONT by MORISAWA　ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

再生紙を使用しています。

活動報告

令和６年度麻生地区消防出初式

１月、「令和６年度麻生地区消防出初式」に出席。新型コロナによる行動制限もなくなり、たくさんの方が観覧されていました。式典では永年勤続の消防団員の方などの表彰が行われ、終盤の一斉放水では消防ヘリも参加し大きな拍手と、歓声が起きていました。昨年の麻生区内での火災発生件数は一昨年と比較し７件減の24件。主な出火原因は「たばこ」「電気機器」。乾燥した日が続いています。皆さまも火の元には十分ご注意ください。

高石神社「流鏑馬」

１月、毎年「成人の日」に高石神社で行われる「流鏑馬」にお伺いさせて頂きました。高石地区では江戸時代から流鏑馬が行われており、現在は流鏑馬保存会の皆さまで保存・継承されています。今後も地域の伝統行事として末永く残して欲しいと思います。

第20回あさお古風七草粥の会

１月、麻生区役所広場にて開催された「第20回あさお古風七草粥の会」にお伺いさせて頂きました。七草粥に使う食材は、地元で栽培された米・野菜をはじめ、地元で摘んだ七草などが用いられています。また、七草粥に入っているお餅を焼く炭も麻生区早野地域でボランティアの皆さんが焼いた炭を使用しています。会場では、お囃子、かわさきかるた取りなどお正月遊びも紹介され、日本古来の伝統文化をたくさんの方が楽しまれていました。自然豊かな麻生区だからこその行事です。ぜひ、これからも継承していって欲しいと思います。

どんど焼き

１月、麻生区各地域で開催された「どんど焼き」にお伺いさせて頂きました。今年も正月飾りを括り付けた櫓の高さが10メートルを超える物もあり、点火を心待ちにする子どもたちの姿もありました。点火と共に勢いよく燃え上がる様子はとても迫力がありますが、近年では場所の確保が難しく、継続が危ぶまれている地域もあると伺います。無病息災を願う伝統行事として今後も継承されるよう切に願います。

県政報告（タウンニュース掲載）

かながわ未来
県政報告vol.50

鉄道ネットワークの機能強化など「県予算編成に対する要請書」を知事に提出

神奈川県議会議員　石川ひろのり

11月、川崎市選出県議会議員の会幹事として「令和6年度神奈川県予算編成に対する川崎市からの要請書」を黒岩知事に提出しました。

○鉄道ネットワークの機能強化

横浜市高速鉄道3号線「新百合ヶ丘駅」までの延伸について、川崎市は令和2年1月に概略ルート・駅位置を決定し、横浜市と協力して早期開業を目指しています。また、今後の人口増加を考慮し、各鉄道路線の安全性向上や輸送力増強による混雑緩和に向けた取組を推進しています。県に対し、既存路線の混雑緩和や羽田空港、リニア中央新幹線駅へのアクセス強化のため、広域行政として必要な財政措置や支援策を求めています。

○小児医療費助成・ひとり親家庭等医療費助成

私は、約20年にわたる県への川崎市からの要請に基づき、県の財政状況を理由に政令市が他の市町村と比較し低く設定されている「小児医療費助成・ひとり親家庭等医療費助成など」の補助率の見直しを知事に提言してきました。県は本年11月、継続的な事業見直しを進め、約30億円の財源を確保し、「政令市に対する県単独補助金の補助率見直しを行う」と発表しました。県からの補助率が上がることにより、市は他の事業に予算を振り分けることができると考えます。私は県財政が厳しい中でも、子育て環境整備や介護・医療、急傾斜対策、横断歩道の引き直しなど県民生活に密着した課題に「迅速な対応が求められている」と県税の使い方について提案し続けています。皆様のご意見・ご要望をぜひお寄せ下さい。

石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり 県政へのご意見・ご要望はこちらまで 事務所
麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
☎044-455-6611
FAX044-455-6614
石川ひろのり 検索

鉄道ネットワークの機能強化など「県予算編成に対する要請書」を知事に提出
2023年12月22日号

石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ　横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員笠ひろふみ秘書を経て、2015年４月神奈川県議会議員に初当選（現在３期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。
趣　　味：ジョギング（湘南国際マラソン・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録３時間29分28秒）　家族：妻、子供一人
好きな言葉：「石の上にも３年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりホームページ▶

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 石川ひろのり 検索

ボランティアスタッフ募集
石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援（個人献金）のお願い
石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▼石川裕憲後援会　【郵便局】払込取扱票にて（口座番号 00200-7-52777）　【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店　普通　口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。FAX 044-455-6614

ご意見など

ご記入いただきました情報は業務に限り使用させていただき、当事務所内にて適切な管理、監督を行います。

お名前　　TEL

ご住所